

大阪選出国會議員 各位

緊急

2013年11月22日
大阪府歯科保険医協会
理事長 小澤 力

「プログラム法案」の参議院での廃案を求めます

社会保障制度の今後の「改革」のスケジュールを規定する「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法案」（プログラム法案）は、わずか5日間25時間という審議時間で討論を打ち切り、11月15日の衆議院厚生労働委員会で採決が強行され、19日の衆議院本会議において可決、参議院に送付されました。

「プログラム法案」は、「個人の自助を喚起する仕組みを導入」と明記し、「自助・自立のための環境整備を推進する」として、国民の生存権を保障する国の責任を放棄し、社会保障の理念を変質させています。また、消費税を増税した上で、医療、介護、年金の給付削減・負担増の日程を押しつけるものであり、断じて容認することはできません。

これまでの国会審議でも、消費税増税は社会保障充実のためといいながら、医療・介護・年金などあらゆる分野で負担増、給付削減が計画されていることを批判する意見が出されています。

長引く不況や雇用破壊を背景に、国民生活はますます困窮し、今でも高すぎる患者窓口負担のもとで、治療中断、受診抑制が深刻化しています。さらなる負担増・給付削減は国民のいのちと健康を脅かすものであり、私たち医師・歯科医師は断じて許すことはできません。下記事項の実現に向けて、ご尽力たまわりますようお願いいたします。

記

一、「プログラム法案」について、徹底審議の上、廃案にしてください。

以上